

土岐市洪水・土砂災害ハザードマップ

一洪水・土砂災害から身を守るための日頃の備え、早めの避難一

お問合せ先：土岐市役所建設総務課 電話0572-54-1111

活用しよう！ハザードマップ

このハザードマップは、台風、大雨などにより水害(河川氾濫等)や土砂災害の発生危険性が生じた場合に、注意すべき危険区域、避難のための施設などをとりまとめたものです。水害と土砂災害は一連の降雨により同時に発生する可能性が高い現象です。そのため、同一の地図に洪水浸水想定区域と土砂災害(特別)警戒区域を表示し、水害や土砂災害から身を守るために必要なさまざまな情報をお知らせするものです。

災害が発生する恐れのある場合は、市役所から避難情報が出されますが、市民の皆さんが自身に危険を感じたら、自主的に避難してください。

地域の避難訓練等に積極的に参加するなど、日頃から災害に備えてハザードマップを活用しましょう。

洪水浸水想定区域・水害危険情報図(想定最大規模)

このハザードマップの洪水浸水想定区域・水害危険情報図は、想定し得る最大規模の降雨(1年間に発生する確率が1/1,000程度)を基に国・県が示した区域を表示しています。また、「家屋倒壊等氾濫想定区域」は、堤防沿いの地域等において、家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい氾濫流や河岸侵食が発生すると想定される区域です。

土砂災害(特別)警戒区域

このハザードマップの土砂災害(特別)警戒区域は、土砂災害により被害の恐れのある箇所の地形や土地利用状況などの基礎調査を基に県が指定した区域を表示しています。

- #### ハザードマップの使い方
- 自宅の位置を確認して、印をつけましょう
 - 自宅付近の避難所を確認しましょう
 - 危険区域を確認しましょう
 - 避難所までの安全な避難経路を設定しましょう
 - わが家の防災メモに家族で決めた避難所や緊急連絡先等を記入しましょう
 - このマップを家族がよく目にするところに置いておきましょう

わが家の防災・緊急情報メモ

家族の連絡先

家族の名前	生年月日	血液型	持病・アレルギーなど	連絡先など(携帯番号など)

わが家の避難場所

家族の集会所

その他

わが家で想定される浸水深は？

わが家は土砂災害区域ですか？

わが家は家屋倒壊等氾濫想定区域ですか？

災害伝言ダイヤル

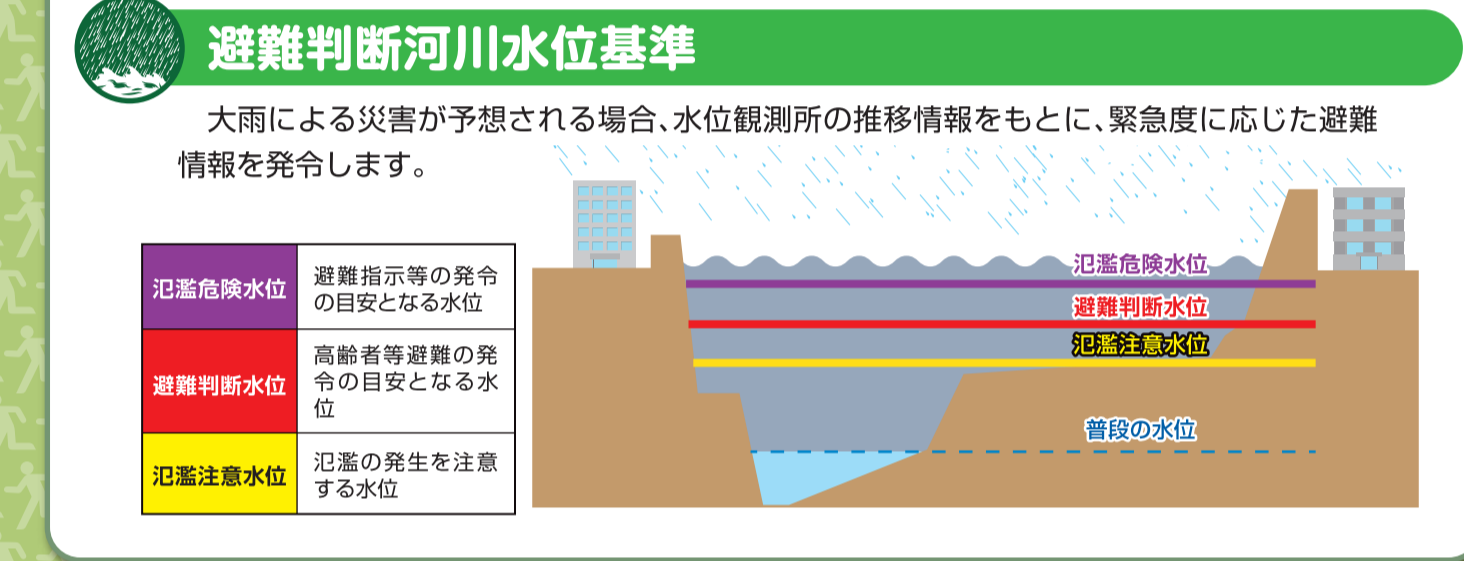
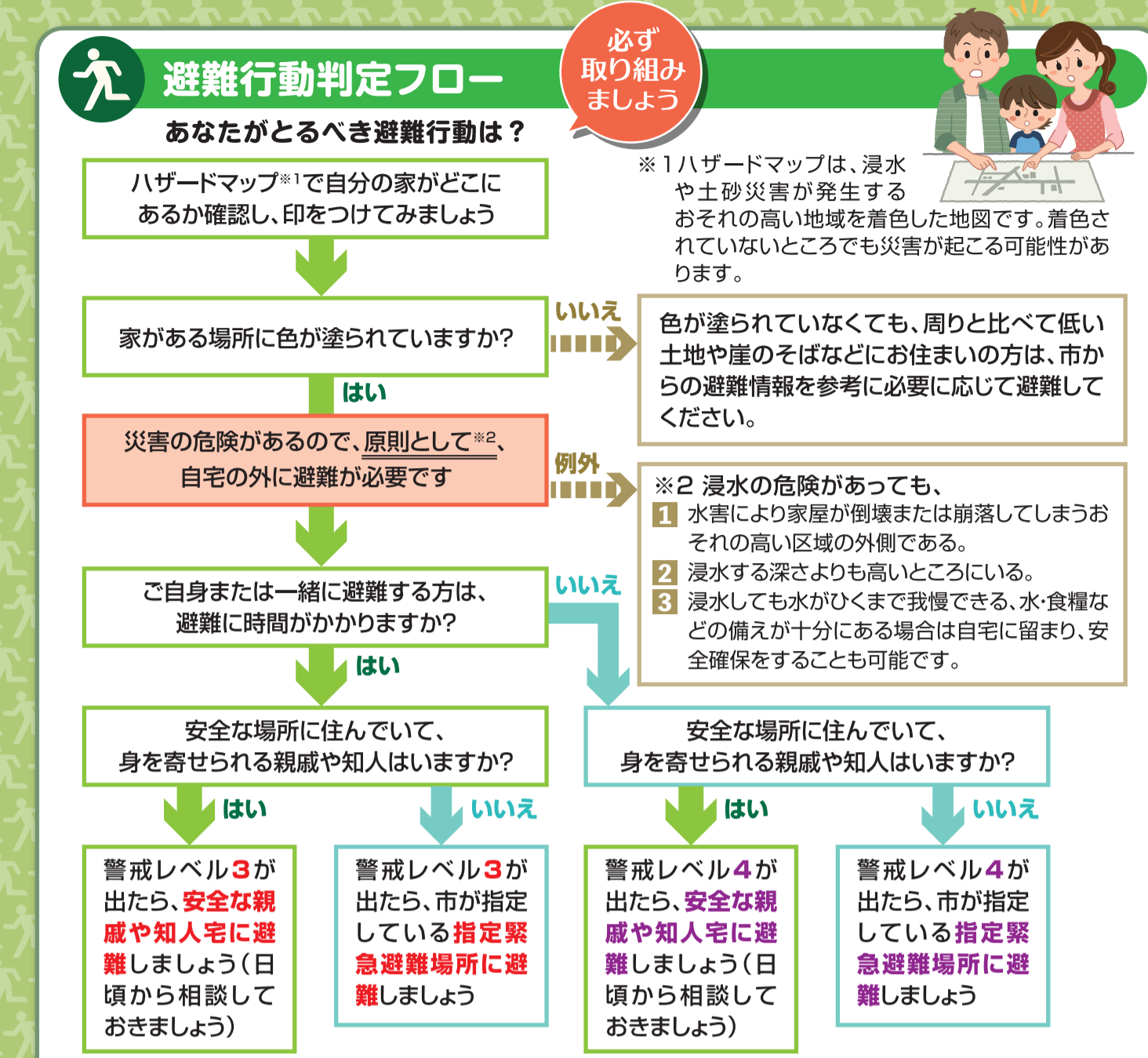
NTTでは、災害発生時に、被災時に通話がつながらにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害伝言ダイヤル」が設置されています。

伝言の録音	171-1-0000-00-0000(被災地の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	171-2-0000-00-0000(被災地の電話番号)	伝言番機数	1電話番号あたり20件以内
伝言内容	1伝言あたり30秒以内	利用可能電話	固定電話、IP電話(050含む)、携帯電話

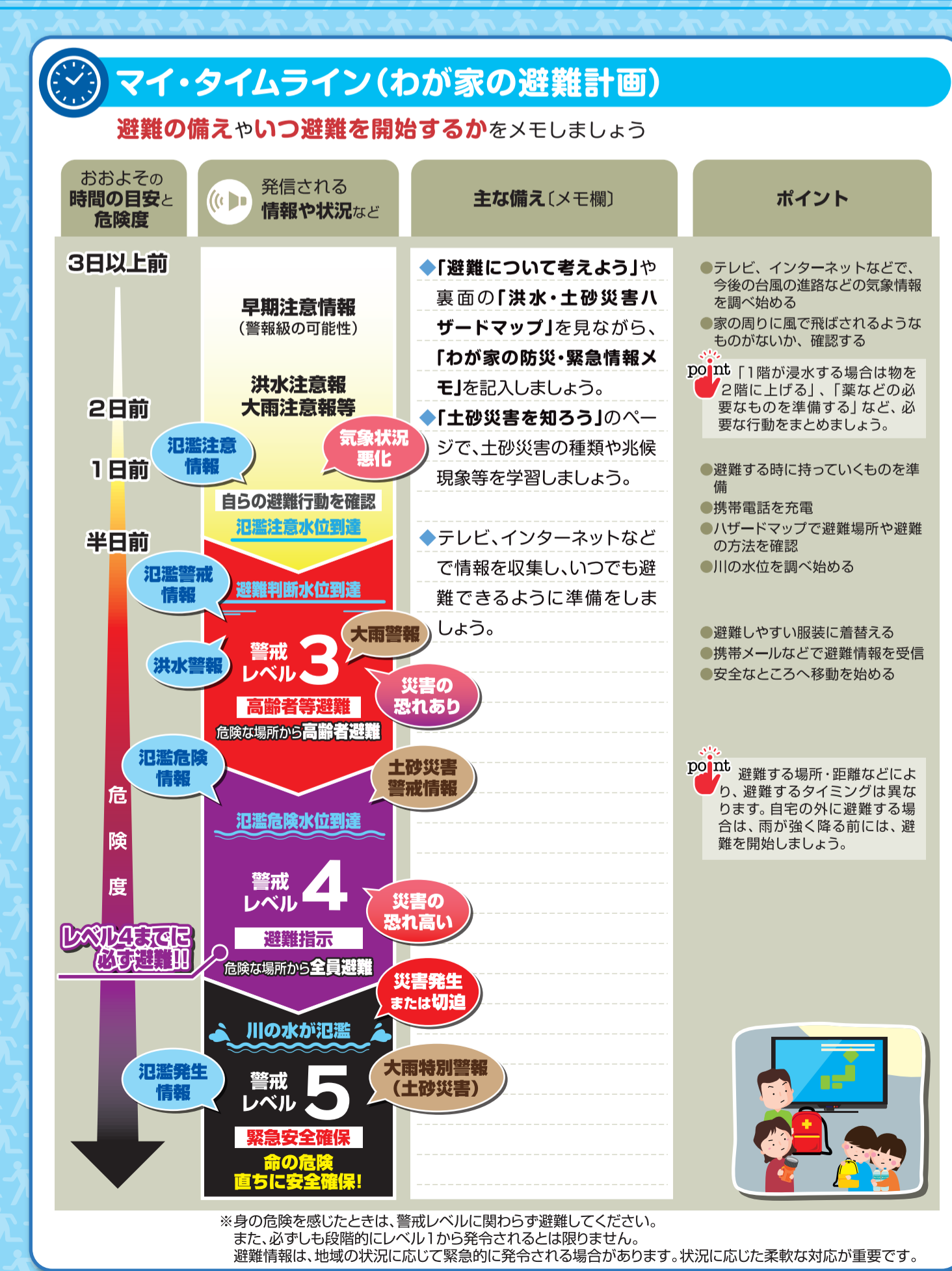
公共施設、総合病院・救急案内

名称	施設所在地	電話番号
公共施設	土岐市役所 土岐津町土岐口2101	0572-54-1111(代)
土岐津交番	土岐津町土岐口2086-8	0572-55-2002
北消防署	肥田浅野笠神町3-11	0572-53-0123(代)
南消防署	下石町2034	0572-58-0119
総合病院	土岐市立総合病院 土岐津町土岐口703-24	0572-55-2111(代)
東濃厚生院	瑞浪市土岐町76-1	0572-68-4111(代)
救急案内	休日急病診療所 駄知町1272-5	0572-59-1500
土岐地域救急病院内	肥田浅野笠神町3-11	0572-55-3799

避難について考えよう



避難に備えよう



土砂災害を知ろう



土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)

土砂災害より土石等の移動等による建築物に作用する力の大きさが、通常の建築物が土石等の移動に対して住民の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれのある損壊を生じることなく耐えることのできる力を上回る区域。

※ただし、地すべりについては、地すべり地域のすべりに伴って生じた土石等により建築物に作用したときから30分間が経過した後に、避難情報が発令される。

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン)

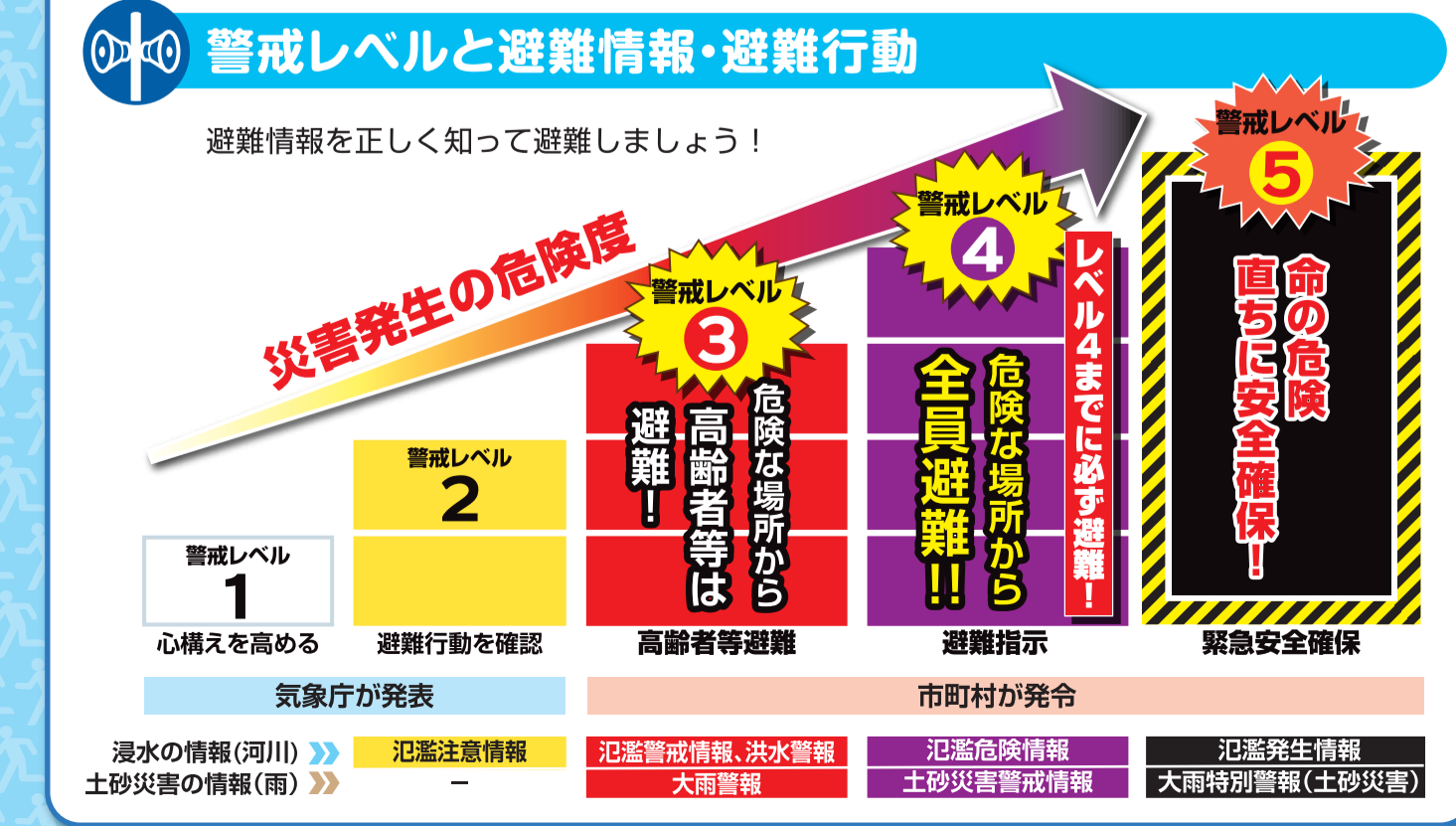
土砂災害により住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域。

- #### 雨に注意してください
- 土砂災害のほとんどは、長雨や集中豪雨がきっかけで起こります。一般に土砂災害の発生と雨量の関係については、1時間に20ミリ以上、または降りはじめてから100ミリ以上の降雨量になったら要注意といわれています。十分に警戒してください。

- #### いざ避難の時は
- 火気の始末をする
 - ガスの元栓を閉める
 - 行動しやすい服装をする
 - 非常持ち出し品の用意をする
 - 避難は早めに行う
 - 複数で行動をとる
 - 絶対に渓流を渡らない、近づかない
 - 危険な所(崖くずれ、洪水等)は避ける
 - 誘導員の指示に従い、勝手な行動は慎む

避難が困難な場合は

局部的豪雨や夜間の場合は、屋外に逃げる事が困難な場合がありますので、次善の策として、近くのできるだけ頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は、家の中より安全な場所(例えば、崖から離れた部屋や二階)に避難しましょう。



情報収集をしよう

災害情報 / 気象情報を確認しましょう

避難指示など、災害に関する情報

土岐市ウェブサイト <https://www.city.toki.jp/>

岐阜県総合防災ポータル <https://www.pref.gifu.jp/bousai/>

土岐市情報提供サービス <https://service.sugumai.com/toki/>

岐阜県川川の防災情報 <https://www.kasen.pref.gifu.jp/>

ぎふ土砂災害警戒情報ポータル https://alert.sabo.pref.gifu.jp/web_public/top.html

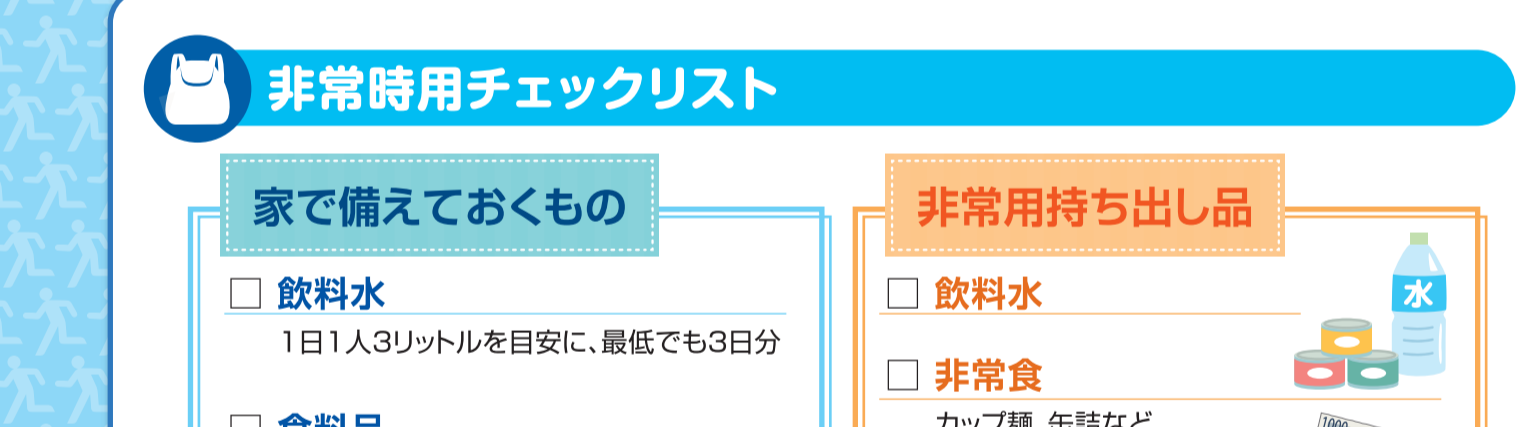
緊急速報(エリア)メールサービス

市では、各携帯電話会社(NTTドコモ(docomo)、KDDI(au)、ソフトバンクモバイル(ソフトバンク)など)が提供する緊急速報メールのサービスを利用して、災害・避難情報などの配信を行います。災害時の情報は、防災行政無線や市ホームページなどで伝達していますが、このサービスにより、緊急速報メールに対応する携帯電話を利用する方(市内滞在中)に、迅速に災害・避難情報をお知らせすることができます。

こんな場合は受信できません

- 土岐市外(受信エリア)にいるとき
- 電源がOFFの場合、通話中やパケット通話中の場合など
- 緊急速報メールに対応しない機種の場合は各携帯電話会社の窓口にお問い合わせください

避難情報の主な伝達経路



- ### 非常時用チェックリスト
- 家で備えておくもの
- 飲料水: 1日1人3リットルを目安に、最低でも3日分
 - 食料品: レトルト食品、アルファ化米、インスタントラーメン、缶詰、お菓子、バランス栄養食品など
 - 衛生用品: ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、救急箱、マスク、生理用品、携帯トイレ、体温計、除菌スプレーなど
 - 生活用品: マッチ、ろうそく、カセットコンロ、給水用ポリタンク、懐中電灯、乾電池、軍手、ゴミ袋など
- 非常用持ち出し品
- 飲料水
 - 非常食: カップ麺、缶詰など
 - 貴重品: 現金(小銭を多めに)、預金通帳、印鑑、保険証・免許証のコピー
 - 衛生用品: 救急箱、薬、マスク、ウェットティッシュ、替えの下着、生理用品など
 - 生活用品: 懐中電灯、ラジオ、携帯電話の充電器、乾電池、ヘルメット、雨具など
- 家族で共有しておくこと
- 避難場所、集合場所、避難経路を確認
 - 安否確認の方法をあらかじめ確認(複数)
 - 災害伝言ダイヤル・伝言板の使用方法を確認

ローリングストック

「ローリングストック」とは、普段自宅に利用しているものを少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品等が家庭で備蓄されている状態を保つための方法です。

備える

- 非常食
- 日用品
- 持ち歩き用品

食べる

ポイント

- 費用、時間の面で普段の買い物の範囲でできる
- 買い置きのスペースを少し増やすだけで済む

備蓄の目安=家族の人数×最低3日分

※できれば1週間分を備えましょう